

企業法務にお役に立てできる情報もりだくさん！

法律事務所に少し“堅い”イメージを持っていませんか？森大輔法律事務所の弁護士はいつも真剣そのもの！でも、弁護士はとて身近で気兼ねなく頼っていただける存在です。本号では、企業法務に役立てていただける記事はもちろん、勉強会の案内、おすすめ情報など、情報もりだくさんでお届けします！

目次

- P1 代表挨拶 弁護士 森大輔
事務所報 「事務所移転の準備」
- P2 事務所報 「株式会社スコープ様を訪問しました」
事務所報 「社労士様向けセミナー開催のご報告」
弁護士コラム 「カートバトル」
- P3 弁護士コラム 「薬機法セミナー」
事務員コラム 「ランチタイム」
- P4 弁護士コラム 「釣り日記2」
森代表のゴルフ紀行

代表挨拶 弁護士 森大輔

緊急事態宣言が解除されて2か月が経過しました。日本でもオミクロン株の感染者が確認され、今後の動向も気になるころではありますが、現在の日本は緊急事態宣言時に比べ、コロナ対策も緩和され、経済活動を積極的に推進する雰囲気を感じております。そんな中、今私が気になっているのは、在宅ワークの行方です。在宅ワークには、たくさんのメリットがありました。特に、これまで通勤に時間を要していた方にとっては、在宅ワークの恩恵は計り知れないものがあつたのではないのでしょうか。他方で在宅ワークのデメリットも指摘されているのは事実です。コミュニケーション不足が生じる点はよく指摘されているところで、報道等を見ても会社によっては在宅ワークを縮小化している動きもあるようです。しかしながら、新型コロナの感染拡大がきっかけとなつてしまいましたが、働き方の選択肢が増えたことは紛れもない事実です。働き方の多様化は、女性の社会進出の後押しにもなりますし、介護と仕事との両立も可能になるかもしれません。また、この採用難の時代に、いかに企業として独自の魅力ある働き方を提供することで、他企業よりも優秀な人材を確保するチャンスにも繋がるかもしれません。この働き方の多様化というメリットを最大限生かす企業がどれだけ現れるのか注目していきたいと思ひます。



事務所報 「事務所移転の準備」

来年1月に事務所の場所を移転することとなりました。

移転先の場所は、今あるビルの同じフロアですので、住所も電話番号も変更はありません。エレベータを出て正面の場所になりますので、ご来所いただいた際は、より分かりやすくなると思ひます。

さて、引っ越し作業も順次進めています。同じフロア間での引っ越しですので、事務所のメンバーで引っ越し作業をすることになります。新しいオフィスのレイアウトを決めたり、家具を決めたりする作業は、ワクワクするものです。来年以降、どんな事務所になっていくのか、今後どのように発展させられるのか、今から楽しみです。年末までに引っ越し作業が完了できるように、頑張りたと思ひます。

事務所報 「株式会社スコープ様を訪問しました」

先日、弊社の顧問先である株式会社スコープ様を訪問させていただきました。スコープ様からは、弊所の強みである景品表示法の問題や契約書作成などの企業法務分野で、日々多くのご相談をいただいております。そこで、弊所弁護士との日常のやり取りに対するご意見や、事務所紹介のパンフレットに掲載するためのお写真を頂戴しに伺いました。普段の法律業務のお話から在宅ワークに関する所感、最近の身近な出来事など、取り留めのない話を、昼食をとったり、社内にある都内が一望できるカフェスペースでくつろぎながらさせていただきました。ありがとうございました。



事務所報 「社労士様向けセミナー開催のご報告」



本年9月～10月にかけて、社労士の先生向けに「コロナ禍におけるフレックスタイム制・変形労働時間制導入についての解説セミナー」を実施しました。今回はお申込みをくださった先生宛てにYouTube配信を行い、配信期間中は好きな時間に何度でもご視聴できるようにいたしました。内容は、変形労働時間制とフレックスタイム制の違い・制度を導入する際の注意点・時間外労働はどのように計算されるのか・勤怠管理方法の注意点などです。お客様からは「制度設計だけでなく、制度と実態がマッチしているか確認することが重要だと思いました」「YouTube配信は予定に合わせて見たり、途中で止めて考えることもできて良かったです」などの声をいただきました。弊所では来年も社労士セミナーを開催する予定ですので、是非ご視聴ください。

弁護士コラム 「カートバトル」

弁護士の岡井です。先日、弁護士会の会派の活動で「カートバトル大会」という魅力的な企画が開催され、「レーサー企画を満喫できます！」との言葉に踊らされ、弊所から森弁護士、杉浦弁護士、私の3名で参加してまいりました！

私は、「まあ所詮ゴーカートでしょ」と思っていたのですが、カートを見ると少年の心が自然と奮い立ちました！皆さんテンションがあがり、気づいたらレースに夢中でした（夢中になりすぎて、私は前方を走っていた杉浦弁護士に追突していました（笑））。

コースは全長390mと本格的で、大会は、1周の最速タイムを競うタイムアタック形式で繰り広げられました。カートレースに関しベテランの弁護士の先生もおり、その方の運転さばきには圧倒されました。

レースが終わると、私を含め森弁護士、杉浦弁護士も体力的に疲れ切っており、特にハンドルを握る腕がパンパンになりました。それほどハンドルを握ってレースを堪能したのだと思います。初めてカートレースを経験しましたが、正直想像以上に楽しめました。次回、弁護士会の企画で参加する機会があれば、入賞を目指したいと思います。

なお、カートレースができる場所は、都内（足立区）にある「シティーカート」というお店です。皆さんも興味がありましたら是非足を運んでみてください！



弁護士コラム 「薬機法セミナー」

弁護士の岡井です。今回、ニュースレターの紙幅をお借りし、私が所属している全国薬機法医療法弁護士協会についてご紹介したいと思います。

皆さん、薬機法や医療法といった法律はご存知でしょうか。法律の名前を見れば、何か薬品関係や病院関係というイメージはつくかと思います。もう少し具体的にご説明すると、薬機法（正式名称：医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）は、医薬品や化粧品、健康食品等の製造販売や広告を行う場合、密接に関わる法律です。そして、医療法は、病院・クリニックの開設、医業等の広告を行う場合、密接に関わる法律です。

この薬機法や医療法を遵守しなければならない場面は多くあるにもかかわらず、これらの法律に精通している弁護士は、全国でもそう多くはございません。

そこで、当協会では、このような薬機法や医療法の研鑽と知識や経験の共有を行い、健康食品の販売会社や病院・クリニックに対して適切な法律助言を行い、ひいては消費者に適切な薬務・医療の機会を提供することができる社会の構築を目指すため、若手弁護士5名で活動しております。

当協会の活動の一つとして、令和3年11月10日（水）に、バリューコマース株式会社との共同企画として、サイト運営者向けに景表法・薬機法の解説セミナー（ウェビナー）を実施いたしました。

セミナーは、景表法30分、薬機法30分、質疑応答30分の合計1時間半行い、私は景表法を担当させていただきました。セミナーに参加した視聴者数は200人を超える大規模で質問も多数寄せられたセミナーでしたので、日ごろ皆様が悩まれている点を肌で感じることができ、セミナーを行う弁護士側も大変勉強になりました。

当協会では、このような活動を通じて、薬機法や医療法等の研鑽と知識や経験の共有を行っております。弊所では、当協会の一員として薬機法や医療法に関する法律相談にも対応できますので、是非、ご相談いただければと思います。



事務員コラム 「ランチタイム」

事務員の新鮮な新保です。緊急事態宣言が明けて2か月ほどが経ちました。明るさを少しずつ取り戻してきた銀座界隈での事務所のランチ事情について今回はご紹介いたします。

事務所のビルを左に出ますと銀座、右に出ると築地となります。近頃、所員は築地方面にランチに出る機会が多くなりました。とはいえ、事務員は事務所内で、お弁当で済ませることが多いのですが、優しい森先生が時々事務員にランチを買ってきてくださいます。

グルメな先生方が買ってきてくださるランチはどれもおいしいのですが、中でも特においしい見た目も鮮やか、感動的なランチのツートップはこちらです。

- ・「本種」のちらし寿司
- ・「天ぷら黒川」の天丼

ちらし寿司はもちろん、サービスのお味噌汁のお出汁がかなり美味です。天丼は、豪華なエビの他にもほたてやトマトの天ぷらの食感がたまりません。

近くにお越しの際は、ぜひ1度行かれてみてください。



弁護士コラム 「釣り日記2」



海を見ると心が落ち着くことはないでしょうか。私は、ときどき無性に海を見たくなる時があります。

以前、鯛釣りに行ったことをコラムに紹介しましたが、今年も東京湾に釣りをしに行きました。今回は、鯛のほかに青物（ワラサ、イナダ、サワラなど）も目標にしました。

前半戦の鯛釣りは全くの不調で、釣れる気配もありませんでした。

後半戦の青物釣りに期待をしていましたが、こちらも全く反応はありません。前半戦は同行者全体が不調でしたが、後半戦は皆さんちらほら釣れ始め、釣れていないのはとうとう私だけになりました。

そんな中、船長から「あと10分で引き揚げます」という号令がかかり、私は坊主を覚悟しつつありました。その瞬間、急に強い引きがありました。本日初の引きでした。

リールを巻き、船長もタモを構えて待つと、魚の姿が見えました。サワラです。よし！と思った瞬間、急に竿が軽くなり、目の前で、サワラが逃げていくのが見えました。

肩を落としながらも、あと少しで釣れそうだったという感触がありましたので、もう一投しました。時間的にはあと1、2投しか

できない時間帯です。リールを巻いていくと、さっきと同じ強い引きがあり、今度は何とか釣り上げました。一日がかりで東京湾を船で回りましたが、最後の最後で大物を釣ることができてよかったです。羽田空港に行き来する飛行機を眺めながら、海釣りを楽しむのは、私にとってはとても有意義な時間となりました。

森代表のゴルフ紀行

今回は、美浦ゴルフ倶楽部に行ってきました。美浦ゴルフ倶楽部は、数年前にゴルフコンペで100オーバーを叩いてしまったコースだったので、今回はリベンジをかけての再戦でした。

グリーン周りはバンカーだらけで、3ホール中2ホールはバンカーショットをさせられていたと思います。

また、グリーンに乗っても10フィートほどの速さがありましたし、一見すると上りか下りかも分からなくなるグリーンの形状に悪戦苦闘しました。

右の写真はパー3のホールでしたが、この形状からしても難攻不落のコースであることはよく分かると思います。

スコアの方ですが、48、47の95でした。冬ゴルフであることを考えると、十分にリベンジできたのではないかと思います(笑)。

挑戦し甲斐のあるコースですし、景色も本当に綺麗なコースです。

ちなみに、私が写っている写真は、穴戸ヒルズ東コースのもので、

自身の写真を忘れてしまいましたので、こちらを代用させていただきます(笑)。

※ちなみに穴戸ヒルズでは直近では最高の90でした。



発行元：森大輔法律事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-1 南海東京ビルディング8階

TEL：03-6226-5096 FAX：03-6226-5097